

「新交検」の問題点について

関西支社に申し入れました！！

私たちは4月19日に「新交検」に関する問題点について所属する労働組合を通じて関西支社に対して申し入れを行いました。以下はその内容です。

社員の皆さん『安全最優先』の職場環境づくりのため感じたことを声にして下さい！

(4月19日付の申し入れの内容)

「交番検査周期延伸・交検新体制」に関する申し入れ

今年のダイヤ改正以降、3月31日より「交番検査周期延伸・交検新体制」での検修作業がスタートして約3週間が経過した。1本140分作業での交番検査は協力会社のSEK作業も含め時間的に余裕がない状態が続いている。また職場環境も見直す点が多い。

よって『安全最優先』の作業を行うため、以下の通り申し入れるので早急に労使協議の場を設定すること。

記

1. 交番検査の勤務種別を「変形4f」か「変形4e」とし「交番検査の施工時間を1本145分」とすること。「変形4f」の場合、1日「15分」の働きだめの分については調整休日を付与すること。
2. 朝の点呼で伝達する「当日の作業の指示券」等の内容について、各グループごとに担当者が集まって打ち合わせを行う「作業前ミーティング」の時間を3分程度設けること。
3. 「運転台作業」が遅れた場合の要員として、現在の「解析班」の「その他4名」を『第2特修班』として要員化し、運転台作業経験者を配置すること。
4. 「消耗品」や「ウエス等」は工具ロッカー同様各号車担当ごとの管理とし、新たに「置き場」を設置すること。「丸イス」「簡易の作業台」も各号車に配備すること
5. 「検査周期延伸」「新交検」検査体制の作業において、今後『安全最優先』の趣旨に反する事象が発生した場合は、現場社員の意見を反映し「内容」の見直しを行うこと。

以上